



令和6年鎌ヶ谷市議会定例会12月会議報告

通学路や交差点整備のさらなる推進や 物価高騰に伴う学校給食費公費補填を追加計上 ～一般会計補正予算約2億5千万円などを可決～

12月会議(令和6年11月28日～12月13日)では、補正予算など議案12件、人権擁護委員の推薦に関する諮問1件を可決しました。

補正予算では、通学路や交差点整備のさらなる推進に向けた経費や物価高騰に伴う学校給食費の公費補填などが追加されました。

1 学校給食費公費補填の追加 500万円

食材価格の上昇などに伴い、学校給食賄材料費の不足が見込まれるため、当初見込んでいた公費補填額から、さらに追加計上されました。このことで、保護者が負担する学校給食費の増額が抑制されることとなります。



学校給食

2 市道22号線交差点改良の推進 約350万円

市道22号線交差点(東中沢自治会館付近)の改良に向け、用地取得費が追加されました。

【補正後の用地取得率】約53%

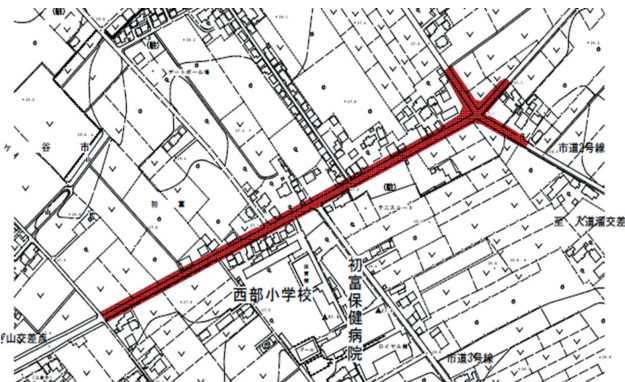
3 市道1号線通学路整備の推進 約130万円

市道1号線通学路(西部小学校付近)の整備に向け、用地取得費が追加されました。

【補正後の用地取得率】約54%

4 公共施設の簡易修繕 約3,630万円

コミュニティセンター、保育園、児童センター、公園、市営住宅、消防署、小中学校、公民館などの公共施設の修繕料が追加されました。



市道1号線の位置図

令和7年度予算編成に関する要望書の提出

現在、市は令和7年度予算の編成を進めていることから、政友会では、令和7年度予算編成にあたっての要望書を芝田市長に提出しました。

重点要望事項として、『軽井沢地区で判明した有機フッ素化合物(PFAS)問題に対する対策』、『北千葉道路沿線土地利用の検討』、『新鎌ヶ谷駅から北初富駅までの緑道整備』、『学校給食費の負担軽減』、『小中学校体育館や市民体育館のエアコン設置』など10件の要望を行いました。

一般質問を行いました(12月6日)

令和6年12月会議では、『新鎌ヶ谷駅周辺地区市有地活用に係る公募型プロポーザル』について、一般質問を行いました。

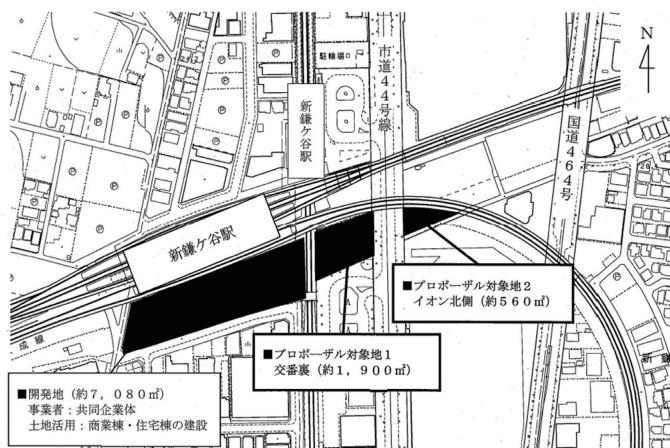
《新鎌ヶ谷駅周辺地区市有地活用に係る公募型プロポーザルについて》

質問 公募に至った経緯について伺います。

回答 新鎌ヶ谷地区には、千葉県所有の未利用地が3か所あり、うち1か所は、京成電鉄等の共同事業者が土地を取得し、住宅棟と商業棟の建設を進めています。(令和8年度完成予定)
残りの次の2か所の土地は、市が所有し、令和6年11月15日に公募型プロポーザルを開始しました。

《土地の概要》

- (1) 新鎌ヶ谷駅南側駅前広場の
交番裏：約1,900㎡
- (2) イオンの北側の
新京成線高架橋の南側：約560㎡



質問 公募の基本コンセプト、募集業種などについて伺います。

回答 基本コンセプトとして、にぎわいの創出、就業者等の昼間人口の増、税収増に繋がる機能を有する施設で、具体的には、オフィス、飲食店、ホテルや医療福祉施設、文化施設や体育施設などの複合的な提案を可能としています。

質問 プロポーザルにおける土地の公募価格について伺います。
また、購入後、土地利用の用途変更や転売防止策について伺います。

回答 土地の公募価格は、市が千葉県から購入した価格と同額を最低提案価格としています。
募集に際しては、土地売却の場合、営業開始後10年間は当初の用途を継続すること、10年以降も、用途変更又は第三者へ売却する場合は、市との事前協議をするものとします。
また、土地貸付けの場合は、契約期間を20年間とし、市の承認なしに、用途変更又は第三者への借地権の売却を認めないものとします。

私からの要望

新鎌ヶ谷駅周辺地区に係る公募型プロポーザルの土地は、駅周辺に残る一団の土地として、将来のにぎわいにつながる土地であり、企業誘致による雇用の創設、税収増につながるものと考えています。
鎌ヶ谷市は、現在さらなる発展に向けて大きく変わりつつあり、その変化を止めることのないようにしっかりとした目標を持ち、今後もまちづくりを進められるよう要望します。



勝又まさる — プロフィール —

議会所属委員会など

●総務企画常任委員会 委員
●都市計画審議会 委員

●議会運営委員会 委員
●社会福祉協議会 評議員